

エルダー関係・
委託関係・

職場問題

主な発言内容

職場でコロナ感染者が出た。感染拡大から半年以上たっているのに、管理者がバタバタしていた。フローのようなものがあれば安心できるのではないか。

年休申し込みに対して季変更が大量に出された。区長が、これまでの慣行を変更して申込理由によつて年休付与の順番を変えるように言つている。

ジョブに伴う転勤や年休問題、職場の中がグチャグチャ、どうしていったらしいのか。

業務の内容がどういう内容で委託されているのかという線引きについて。委託会社社員への教育は運転に関わるものもある。

取り扱いはやらないが知識はある。できるもの、できないものの境界が薄ってきた。

上野乗客がSCSPに移管される。業態が変わった。会社は面談をしていられるが業態が変わるため退職してしまうという人もいる。

エルダー先がなかなか決まらない。いまだにそ

うなのか。

職場のエルダー社員がだんだん減つてきてる。

最初の出向の意義をもう一度考えて、途切れさせないようにしていただきたい。

年末手当

年未手当2・2カ月。

現場は直接お客様と接している。それにしては会社は冷たい。現場でも管理者が冷たい。不安な中で仕事をしている人でありますにも会社は冷たいのである。

会社は2021年は黒字にすると言つてゐる。果たして黒字になった時にボーナスが戻るのかが心配。戻るようになつたために組員として頑張つていただきたい。

はないか。

年末手当2・2カ月。

JR東日本労働組合東京地方本部

200名組織に
向け努力を
難波組織部長

組織拡大

職場に組員ひとりとなつてしまつた。組員の拡大強化、模索してい

出席いただいた
代議員の皆さん

ひとり職場での活動。出来ることは限られるが若手を含め声掛け、関係作りをして行ってほしい。200名組織に向けて頑張ってほしい。

最近、他労組でも不安

を持つてゐる組員がい

る。関係づくりをしながら協力をしていくことも必要と思つてゐる。感情を乗り越えながらやっていきたい。

エルダーの皆さんのがいきたい。

部分がある。納得がいくまで取り組みを進めて行きたい。

エルダーの皆さんの実態が厳しいというのは間違いない。問題点を一つひとつクリアにしていきたい。

夜間作業の問合ひ。会社は3月ダイ改はここを大義名分に進める。一時

間で何が出来るか。グループ会社との関係含めて悩んでいることと思う。

地本はまだまだ不十分。

一つひとつ問題があればクリアしていく。そのためには出し惜しみをしない。時間を惜しまないと、いつ姿勢で進みたい。

多々あると思う。私たちに仕事をさせて頂けるよ

うに皆さんからの声もいたい。

感を感じ取れるような関

職場から共闘
の実現を
小泉書記長

とつ知恵を出しながら働きかけを続けていきたい。

代々木B線はしっかりとやつていく。

eチケットはこれから払い戻しに対応できない

しっかりと取組みを進め

ていく。

駅の委託について。

駅の委託を含めると半数以

上位の駅が委託になつて

る。同じ駅に様々な雇用形態の人が仕事をしてい

る。教育、取扱い等なかなかうまくいくとい

いきたい。

秋田で2名の若い仲間

が加入してくれた。全体

で喜びたい。彼らを迎えて彼らに応えることでの

きる組織を作らなければいけないと身の引き締ま

る思いをしている。

コロナに翻弄された一

年。しかし交渉について

はしつかりやつてきて

る。交渉で感じたことの

一つは会社は徹底的に管

理者を守るということ。

我孫子で発生した起床装

置をめぐる賃金力合戦の

交渉においてはつきりし

たのは、「確認会話」が

全然できていない。しか

し、会社は管理者を守る。

私たちは徹底的に組合員

を守るというスタンスを

はつきりさせてやつてい

きたい。

もう一つは「現場から

問題が上がつて来てませ

ん」と言われる。じゃあ

問題を上げようといふこ

と。ただ一人じや弱い。

なのでみんなで集まる。

みんなで背中を押して、

押されという関係を作つ

ていいことをお誓いして

まとめとする。

分会体制の見直し

今定期大会で「分会体制の見直し」について提案し、可決成立了。したがつて新たな分会に「営業連合分会」を結成します。

現行「新宿地区駅連合分会」と「東京地区駅連合分会」を統合し、新たに「営業連合分会」を結成します。

現行「山手車掌区連合分会」と「松戸車掌区連合分会」を統合し、新たに「車掌区連合分会」を結成します。

合加入組が減つてゐる。職場に労働運動を残せるのかという危機感を持つてゐる。方針に「JR労働運動の大同団結・元化」と書かせていただい

た。いかに労働組合が力を発揮して、組合未加入の人に労働組合の必要性を訴えかけて行けるのか

と、どうところに来ている。今年は本気で共闘を追求していきたい。

現行「建築技術センター分会」を「設備連合分会」として、新たに「車掌区連合分会」を結成します。

業務関係

電の繰り下げ、初電の繰り上げ、初電の拡大になるが、拡大が1時間ぐらい、そこで何ができるのか。考えているところである。

予算削減されコストダウンが言われている。

社は冷たい。現場でも管理者が冷たい。不安な中で仕事をしている人でありますにも会社は冷たいのである。

JR東日本労働組合東京地方本部

は具体的な問題を一つひ

りに仕事して頂けるよ

うに皆さんからの声もいたい。

感を感じ取れるような関

係を作ることが是非とも必要。

地本にも平成採用の仲間が3名いる。今、組合加入者は現職で1万人ぐらいい、2割くらいと言わ

れている。加速的に組合加入者組が減つてゐる。

職場に労働運動を残せるのかという危機感を持つてゐる。方針に「JR労働運動の大同団結・元化」と書かせていただい

た。いかに労働組合が力を発揮して、組合未加入の人に労働組合の必要性を訴えかけて行けるのか

と、どうところに来ている。今年は本気で共闘を追求していきたい。

現行「建築技術センター分会」を「設備連合分会」として、新たに「車掌区連合分会」を結成します。

秋田で2名の若い仲間

が加入してくれた。全体

で喜びたい。彼らを迎えて彼らに応えることでの

きる組織を作らなければいけないと身の引き締ま

る思いをしている。

コロナに翻弄された一

年。しかし交渉について

はしつかりやつてきて

る。交渉で感じたことの

一つは会社は徹底的に管

理者を守るということ。

我孫子で発生した起床装

置をめぐる賃金力合戦の

交渉においてはつきりし

たのは、「確認会話」が

全然できていない。しか

し、会社は管理者を守る。

私たちは徹底的に組合員

を守るというスタンスを

はつきりさせてやつてい

きたい。

もう一つは「現場から

問題が上がつて来てませ

ん」と言われる。じゃあ

問題を上げようといふこ

と。ただ一人じや弱い。

なのでみんなで集まる。

みんなで背中を押して、

押されという関係を作つ

ていいことをお誓いして

まとめとする。

微力だが地本執行委員会、皆さんの先頭でがばつ

ていくことをお誓いして

いきたい。

現地でコロナ感染者が

出た。感染拡大から半年

以上たっているのに、管

理者がバタバタしていた。

フローのようなものがあ

れば安心できるのではないか。

職場でコロナ感染者が

出た。感染拡大から半年

以上たっているのに、管